

校内研修を楽しむ

～主体的・対話的なメンター制研修をめざして～

徳島市川内中学校・城東中学校合同メンター制研修会

合同メンター制 研修会

新たな
知識・スキル

モチベーション
の向上

つながり

個人の成長

組織力向上

他の学校とコラボすることで、
新しい化学反応が起き、よい
刺激となったようでした。

参加校の
校長先生

Step 1: アカデミック・ディベート(40分)

- ひとつの論題の下、自分の意見に関係なく肯定する側と否定する側に分かれる
- 優位性を第三者であるジャッジに理解してもらう
- 客観的な証拠資料に基づいて論理的に議論をするコミュニケーション活動
<参考: 日本ディベート協会(JDA) HPより>

くじ、じゃんけんなど
決め方はランダム!

2つの立場 第三者のジャッジ

発言内容と人格を切り離す

進行 タイムキーパー

肯定側

否定側

ジャッジ

□「論題」提示

中学校は夏休みを廃止すべきだ。

- 「論題」について自分の考えをまとめる(3分)
- 「肯定側」「否定側」「進行」「タイムキーパー」決定
- 作戦タイム(5分)

1	立論	「肯定側」(3分)→「否定側」(3分)
2	反対尋問	「否定側」(3分)→「肯定側」(3分)
3	反駁(はんぱく)	「肯定側」(2分)→「否定側」(2分)
4	作戦タイム(2分)	
5	最終弁論	「肯定側」(3分)→「否定側」(3分)
6	ジャッジ(2分)	
改めて「論題」について自分の考えをワークシートにまとめる(3分)		



【ディベートで獲得できるスキル】

- 思考力** 論理的思考力、批判的思考力
瞬発的思考力
- 発信力** 短時間での確に主張を行う能力
意図を的確に伝える構成力
- 傾聴力** 問題意識を持って聞く能力



ゲームという前提で、**心理的安全性**を確保しながら、自分と
反対の立場を想像することで、**新たな洞察**が得られる

ディベートに参加し、自分と反対側の考えに対応
する意見をグループで考えていく中で、反対側を
深く理解できていることに気づきました。これが
対話することの本来の目的であると体感すること
ができました。



参加者

ディベートで“自己理解を深めることにつながる”とい
うことが目からウロコでした。どうしても自分一人で色
んなことに悩んで考えてしまうことがあるけど、周りの
助けを借りて、考えてみる自分が自分自身の成長につな
がるのではないかと思います。

Step 2: ブレインストーミング(25分)

- ・米国で開発された集団的思考の技術。
- ・他を批判せずにアイデアを出し合う
- ・一定の課題により解決を得ようとする方法

ブレインストーミングは
プレストと略される

<参考: 小学館デジタル大辞泉より>

どんな発想のアイデアも受容

質よりも量

他人のアイデアを否定しない

結合と改善

「これからの学校」について話し合おう

来年の夏休みの改善案を提言しよう!

1	個人でアイデアを考える。(2分)
2	各班で話し合い、3つの提言を決定する。(10分)
3	発表 1分×6班(6分)



【プレストで獲得できるスキル】

- 創造力、問題解決能力、コミュニケーション能力
協力とチームワーク、批判的思考力



Step 3: 振り返り(3分)

主体的・対話的で深い学びを子どもたちに求める
前に、まずは教員が主体的に楽しく、他の教員と
対話的に学ぶ姿を見せていく必要があると感じた。



参加者

人との対話を通して自分の成長を感じられる生徒を育て
たいと思う。それをまず自分が実践できるよう、これか
ら学んでいける教員でありたい。

応用編

①ディベートの論題決定
(プレスト)

②個人での学び
(情報収集・本質の深堀り)

③アカデミック・
ディベート

④ブレイン
ストーミング

⑤具体策の検討と提案

“問い”ができる力を育み、
主体的な学びにつながる

これまでの“あたり前”に疑問
を投げかけ、情報を集め、物事
の本質を深堀りする。



これからは、教員が**学校経営**
に**参画**することが重要